

平成 21 年 5 月 28 日現在

研究種目：若手 B
 研究期間：2006～2008
 課題番号：18730296
 研究課題名（和文）
 管理会計チェンジの理論的・実証的研究
 研究課題名（英文）
 Management Accounting Change Studies
 研究代表者
 近藤 隆史（KONDOU TAKASHI）
 長崎大学・経済学部・准教授
 研究者番号：60336146

研究成果の概要：

本年の研究成果の概要としては、管理会計システムのなかでも特に、成果報酬制度や成果連動型業績評価など日本企業の経営に大きなインパクトを及ぼした業績管理システムの(PMS)の設計と利用のチェンジ（管理会計チェンジ）について着目し、それらがどのような過程を経て組織成果の向上に対して影響を与えているのかについて、理論モデルを構築し、定量的なデータをもとに解明を試みた。

交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2006年度	1,000,000	0	1,000,000
2007年度	1,100,000	0	1,100,000
2008年度	800,000	240,000	1,040,000
年度			
年度			
総計	2,900,000	240,000	3,140,000

研究分野：管理会計

科研費の分科・細目：経営学・会計学

キーワード：管理会計チェンジ，管理会計システム・実務，マネジメントコントロール，業績評価システム

1. 研究開始当初の背景

管理会計研究の「レバンス・ロスト」以降、管理会計システム・実務と組織内外の環境との適合性の喪失がいわれて久しい。しかし、その一方で、近年の管理会計システム・実務の変革（管理会計チェンジ）は目覚ましく、その適合性が取り戻されつつもある。しかしながら、そのような管理会計チェンジについての研究は国内外において実証的なレベルで十分な解明がなされていない状況であった。

2. 研究の目的

近年の管理会計システム・実務の変革は目覚ましい状況にある。本研究の目的は、(1)管理会計システム・実務のチェンジを取り巻く諸変数とそれら変数間との関係を明らかにし、(2)管理会計システム・実務がなぜ、どのようにチェンジするのかを理論的、実証的に明らかにすることである。

3. 研究の方法

主に、管理会計チェンジおよびマネジメン

ト・コントロールに関する理論研究および東証一部上場の製造業を対象にしたサーベイ調査（多変量解析）を行った。

4. 研究成果

本年の研究成果としては、①PMS の設計の変更と利用の変化との間の因果関係、②PMS の利用の変化と組織成員の機会主義的行動および組織成果の向上との間の因果関係にまで踏み込んで仮説を構築し、PMS の設計変更が組織成果の改善に至る過程をモデル化し、分析した。分析の結果、(1) 戦略遂行の過程が業績指標の多様化を通じて明確になり、またそれが非財務業績・評価過程を重視する設計への変更を経由することで、PMS の診断的利用が進む。その一方で、(2)業績指標の多様化が報酬決定における財務業績の重視への設計変更を経由することで、PMS のインターラクティブ利用が促進される。(3) PMS の設計変更は、それを診断的またはインターラクティブに利用することを通じて非財務業績の改善につながる。(4)特に、インターラクティブ利用への変化に関しては、機会主義的行動の抑制を経て非財務業績の改善に影響が及ぶ、の4点が明らかになった。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 3 件)

近藤隆史・窪田祐一・相原基大・福田直樹(2006)
「業績評価システムのチェンジ研究」『経営と経済』Vol. 85, 523-546

福田直樹・近藤隆史・相原基大・窪田祐一「業績評価制度の変化に関する調査報告書」
『Discussion Papers in Business Management (OTEMON-GAKUIN UNIVERSITY)』
Vol. 5, 2006.

近藤隆史・福田直樹・相原基大・窪田祐一(2009)

「業績管理システムの設計と利用の関係に関する実証研究」『経営と経済』第 89 巻第 1 号 (平成 21 年 6 月刊行予定)

[学会発表] (計 2 件)

共同「業績評価と報酬システムの変化に関する実証研究」日本会計研究学会 (全国) 2006. 9. 7 (専修大学)

共同“Changes in Design and Use of Performance Management Systems, Opportunistic Behavior, and Organizational Performance: A Survey Study” The 7th conference of the European Network for Research in Organizational & Accounting Change (Westpark Conference Centre, Dundee,

UK, 23-25 June, 2009) (平成 21 年 3 月 3 日に採択決定)

[図書] (計 件)

[産業財産権]

○出願状況 (計 件)

○取得状況 (計 件)

[その他]

6. 研究組織

(1) 研究代表者

近藤 隆史 (KONDOU TAKASHI)

長崎大学・経済学部・准教授

研究者番号：60336146

(2) 研究分担者

(3) 連携研究者